

## 姫路市中部第二地域包括支援センター安室の活動内容について

社会福祉法人ささゆり会が平成 19 年 4 月 1 日に姫路市（人口 53 万人）より委託を受け発足し、2 年半が過ぎました。地元の自治会・民生委員児童委員の皆様のご協力のもと、知名度も上がってきており、最近は近所の方からのご紹介で訪問させて頂く機会も増えてきております。

2 中学校区（総人口 46,340 名）を担当しておりますが、その内、高齢者は 8,549 名で高齢化率は 8.4%です。他の地域包括支援センターに比べますと高齢化率は低い方ですが、団塊の世代が多く今後も伸びていくのと思われま



21 年 4 月からこれまでの活動内容は下記の通りです。

### 1. 地域貢献事業

介護予防教室の開催

地域包括支援センターの PR と健康啓発を旨とし、年に 1 回各中学校区で開催。

安室中学校区：10 月 7 日（水）13 時 30 分～15 時

講義「認知症予防について」、リズム体操、介護保険制度について説明

高岡中学校区：11 月 25 日（水）13 時 30 分～15 時

講義「転倒予防について」、リズム体操、介護保険制度について説明

### 2. 民生児童委員とのつながり

民生委員児童委員の皆さんとの信頼関係を密に築き、地域ネットワークを活かした対応ができることを目指しています。

(1) 定例会出席（年 1 回）

挨拶、地域包括支援センターの啓発、介護予防教室の案内を行う。

(2) ふれあい会食への参加

姫路市社会福祉協議会安室東支部主催の、一人暮らし対象のふれあい会食を、公民館・集会所で 5 月から 11 月までの夏季を除く計 5 回開催され、参加させて頂いています。健康チェック・健康相談、音楽に合わせたリズム体操、介護保険制度などを説明し昼食を皆さんと一緒に頂くことで、ふれあいの場となっています。また、そこで個別訪問の依頼を受けることもあります。

参加者は、平成 20 年度は 45 名、平成 21 年度は 50 名に各自治会長・老人クラブ会長が出席されています。地域包括支援センターからは、看護師・社会福祉士・介護支援専門員・音楽療法担当者が参加。時間は 10 時～13 時までの 3 時間。笹山施設長が最近の社会福祉について説明しています。

#### (3) おしゃべりサロンへの参加

今年から新たに始まった企画で、主催は姫路市社会福祉協議会安室支部。

高齢者以外にも、地元で子育てをされているお母さんにも参加を呼びかけ、世代を超えて交流する場になることを目指しております。

#### (4) いきいきサロン・ふれあい喫茶への参加

町独自の取り組みで、毎月 1 回開催や 3 ヶ月に 1 回開催など町単位で決めておられます。主催は老人クラブが担当。坂道が多く、高齢化率は平均を上回っており、現在はグランドゴルフ参加者が主ですが、今後は普段外出の機会が少ない方にも参加して頂き、健康づくりの場になることを目指しています。

#### (5) 姫路市中央ブロック協力委員会への出席

中央ブロックの民生委員児童委員が集まり協議する場で、上半期の活動内容を報告するとともに、地域包括をもっと活用して頂けるように PR している。

虐待、身寄りのない独居高齢者、生活困窮、認知症高齢者等の情報がなかなか入りづらいのが現状で、民生委員児童委員より報告を受けることで、実態把握を行い、必要であれば行政へ報告し、対応について検討しています。必要に応じては一緒に訪問を試みる等、密に連絡をとっています。

### 3. 認知症サポーター養成講座への参加

姫路市介護サービス第三者評価機構より依頼を受け、姫路市認知症サポーター等養成事業を今年度は 2 回開催し、郵便局員に対し講座を行いました。現場においても認知症の人が毎日のように窓口に来られて通帳を再発行してほしいと言われることや、話を長時間して帰られるなど苦労話が聞けました。

今後は、スーパーの店員などにも講座を開き、認知症を理解することで周囲から見守っていく態勢がとれるようにしていけたらいいと思っています。

